

U-Vision News

Vol. 24

平成 30 年
9 月 28 日



「U」 = 「雲々々…雲のように自分らしい形で自由に生きる」

公益財団法人 U ビジョン 研究所

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-3-18 ビラ・モデルナ A-405

TEL:03-6904-4611 FAX:03-3407-6055

<http://www.u-vision.org> E-mail:u-vision@diary.ocn.ne.jp

【巻頭言】 特養ホームは空いている？ 不足している？

公益財団法人 U ビジョン 研究所 理事長 本間郁子

よく分らない。特養ホームは空いているのだろうか。不足しているのだろうか。2016（平成 28）年に厚生労働省の事業で、みずほ情報総研が調査した内容によると、2015 年から入居の要件が要介護度 3 以上となったことで、申込者が約 15 万人も減ったことが分かった。居室の満室状況では、満室と答えたのは 73.5%で、26%の施設で空きがあった。新規オープンした特養の開設した時点での利用者は、全室個室で 62.4%、従来型（4 人部屋中心）で 67.8%と 7 割を切っており、満室になるまでに 5.8 カ月かかっているという。

埼玉県議会の予算特別委員会で 2018 年度一般会計予算案が可決された際、特養ホームの整備については凍結するよう求められた理由は、2017 年 4 月の時点で、入居待機者は 9,047 人。県は待機者を解消するために、18 年度から 3 年間かけて特養ホームを 3,679 人分増やすとしていた。ところが、空きベッドが 702 あることが判明したため凍結された。また、東京都の青梅市など西多摩地区にある特養ホーム 54 施設は、2017 年 10 月に入居者募集の検索サイト「西多摩特養ガイド」を開設している。

このような現状があるにもかかわらず、施設不足の報道が後を絶たない。東京都は 2018 年から 20 年度に特養ホームの整備を促進する方針を出した。20 年度には特養ホームを 16 年度比で 19.4%増やし、グループホームは 30.9%増、ケアハウス 27.4%増やす計画だという。

みずほ情報総研は空きのある施設の理由は、人材不足が最も多く 13.3%、入居者が少ないが 13.3%で同数であった。

人手不足は社会全体の問題ではあるが、中には働きたいと思えない施設も存在する。職場環境が改善されておらず時代に合った労働環境になっていない、サービスの質が良くないなどで、応募者がいても面接の段階、あるいは、施設見学をして断られるケースがある。改善もされず、サービスの質も良くないと職員は来てくれない。介護職員は売り手市場だ。職員はいろいろな施設を見て決めていることが多い。改革もせずに来てくれる時代ではないのである。

一方、現在、働いている職員を守り切れず離職を防ぎきれない場合がある。働いてみないと組織がどうなっているのか分からない。理念や方針が明確になっておらず、目標や教育体制がないなど失望して退職する人や人間関係が悪化しストレスをためて辞める人、職員の高齢化が進み、若い人が集まらずに自然減少している施設がある。このような施設は経営困難で自然淘汰される。このような施設の再建支援はない。

待機者が 50 名いても、どうしてもその特養ホームに入りたいという人の調査を定期的にしてないため実数が分からない。空きが出て入れますよと連絡しても、すでに他の施設に入っていたり、入院中だったり、亡くなっていることもあり、申し込んでも取り消していないケースがあるため、どれくらいの待機者がいるのか把握できていない。

すでに他の施設に入っている人は、施設に大きなメリットがない限り変わろうとは思わないだろう。もう、黙って利用者は利用者も職員も入ってくる時代ではなくなったのである。しかし、どのような背景があろうと、空きがあるのは現実。施設を増やす行政の施策はどのような根拠に基づいているのだろうか。

日本政策金融公庫総合研究所の首席研究員の竹内英二氏は、「経営環境が厳しくなる中、生き残るためには良質な介護サービスを安定して提供することである」と書いている。ようやく、市民が良質のサービスを提供する施設を選ぶ時代がきたようだ。自分の人生がかかった最後の選択を U ビジョン研究所が手助けしたい。

活動報告

- 7月2日（月）～4日（水）龍生園 第3回認証審査
- 7月31日（火）龍生園 第3回認証最終審査会
- 8月1日（水）第7回運営会議開催



- 8月1日（水）U-Vision News 編集会議
- 8月21日（火）予算理事会を開催

本間郁子理事長、脊山静子副理事長、是枝祥子理事、高野範城監事

- 9月3日（月）高知県高齢者福祉課へ「豊寿園の抜き打ち調査」報告と説明
高知県議会会長への報告と説明
- 9月7日（金）宝塚市役所へ「中山ちどりのケアホーム及びケアハウスの抜き打ち調査」
報告と説明
- 9月10日（月）～11日（火）生活クラブ風の村特養ホーム八街抜き打ち調査実施
- 9月25日（火）特別養護老人ホーム龍生園 第3回認証授与式開催（写真）
- 相談件数（7月～9月） 13件
- 取材件数（7月～9月） 4件

公益財団法人Uビジョン研究所 第3期（2018年10月1日～2019年9月30日）

事業計画

会費	個人賛助会員	1口10,000円	40名
	法人賛助会員	1口100,000円	17法人
寄附金	寄附金を広く募り、社会貢献活動に繋げる。 また、ご遺産やご遺贈が基金として活用されることを市民に発信し、社会貢献活動をさらに広げる。		
認証事業	認証審査は2施設を予定。抜き打ち調査は3施設。		
講師派遣事業	年契約9か所 その他4か所		
広報誌・PR活動	広報誌年4回発行（6月、9月、12月、3月）		
セミナー事業	2018年11月8日・9日開催予定、 開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター		
出版等事業	新しい出版の予定はないため現在の出版物を販売		

予算

（単位：円）

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
寄附金 （会費・寄附金）	2,700,000	事業費	16,010,931
事業収入 （認証・講師派遣等）	14,312,060	管理費（人件費・交通費・ 家賃・顧問料）	1,587,387
雑収入	2,000	当期活動収支差額	△584,258
合計	17,014,060	合計	17,014,060

◆特養ホームの福祉サービス第三者評価受審数

(認証施設所管県庁や法人賛助会員、研修している県、最も受審数が多かった県のみを取り上げている)

県名	2014（平成26）年度	2015（平成27）年度	2016（平成28）年度
千葉県	4件	9件	3件
兵庫県	8件	9件	8件
高知県	0件	0件	0件
熊本県	3件	4件	0件
愛媛県	0件	2件	2件
滋賀県	0件	0件	0件
神奈川県	7件	6件	11件
東京都	309件	340件	331件
京都府	34件	36件	44件
群馬県	0件	0件	1件
大阪府	6件	21件	17件
茨城県	0件	0件	0件
埼玉県	1件	1件	0件
受審率	6.20%	6.41%	6.36%

* 3年連続ゼロ件は6県：秋田県、茨城県、富山県、滋賀県、島根県、高知県

* 2年連続ゼロ件は2県：奈良県、佐賀県（2015年度、2016年度）

2016（平成28）年度ゼロ件：岩手県、埼玉県、熊本県、鹿児島県、沖縄県を含め合計13県は受審数ゼロ。出典：全国社会福祉協議会政策企画部調査 平成30年1月発表

（特養ホームは社会福祉法、老人福祉法で、自らその提供する福祉サービスの質の評価を行うことが規定されている。さらに介護保険法で提供しなければならない介護サービスが一つ一つ規定されている。人間の尊厳を守るための責務である。しかし、1割にも満たず、前年度よりも減少していることに対して、具体的な施策が見えてこない。質はどう担保されているのか。誰が担保すべきか？市民も考えていく必要があると思う。本間）

◆介護事業所に認定制度導入か？

厚労省は、2019年度から、人材育成や職場環境の改善に取り組む介護事業所の認定制度を始めると発表した。キャリアアップの体制、休暇取得、労働時間削減体制を17項目で評価する。訪問時間は約半日だという。目的は、働きやすい事業所を分かり易くするため、介護職員の離職を防止するためとしている。（監査、福祉サービス第三者評価、認定制度などいろいろな調査が施設に入るが、それが、利用者のサービスの質にどう役に立つものかを知りたい。第三者評価も国がお金をかけて作っても低迷、認定の保証期間はどれくらいか、だれが調査に行くか、その養成はどうか。など、中途半端な調査をあれこれやっても利用者はどこが質を保証されている施設か選択に寄与できる方法を期待している。本間）

◆2019年10月から消費税が10%に・・・

2019年10月に消費税率を10%の引き上げる予定であることは周知のとおりだが、社会保障費の急増と国は国民一人当たり859万円の借金（2018年4月1日現在）がある中で、かなり、厳しい財政状況である。（10%は数年で、これから20%、25%に引き上げられるだろうということは容易にわかる。人生100年時代を生き抜くために、自衛すべきことは何か、また、自衛できる限界はどこまでか？と考えるのは私だけだろうか。本間）

◆2018年8月に340万円以上の収入があると介護保険料の負担が3割へ！

2018年8月に年収が340万円以上だと、介護保険料の負担が3割になった。単に3割上がるのではなく、高額介護サービス費制度を使えば、月36万円の介護サービスを受けたとすると、3割負担だと10万8000円だが、高額サービス費の上限4万4400円を実質負担すれば良いことになる。1割負担の方が3万6000円で、3割負担の方は4万4400円となり、1割負担者と比べても8,400円くらいの負担増になる。(しかし、特養ホームで3割負担するなら、同じ費用でサービスの質の良い施設を選ぶだろう。本間)

◆「デイサービスの活動の一環で収入を得ることは可能！」

厚労省は、デイサービス利用中に、事業所外で働き謝礼として金額を受け取ることは可能であると、自治体や事業所に通知を出した。最近では、公園の清掃や自動車ディーラーで洗車をして、謝礼を受けていた事業所が出てきた。介護サービス利用中の活動で働いたことへの謝礼を受け取ることは適切か自治体も判断が迷っていたことに対する対応。(この通知に違和感がないとも言えない。事業所が仕事の斡旋活動も認めるという状況にならなければいいが・・・。本間)

◆精神科医の長谷川和夫先生(89歳)が認知症に！

認知症の診断の基準を作成した「長谷川式簡易知能評価スケール」は今も使われている。認知症の医療の第一人者の長谷川先生が認知症であることを自ら公表した。自分でその状況を「確かさ」がはっきりしなくなった。と表現した。認知症は次の段階を進んで確かさが失われていく。今がいつなのか、今どこに居るのかがはっきりしなくなる、目の前にいる人が誰なのか分からなくなってしまふ。と話す。自宅を出るときに鍵を閉める。閉めたことがはっきりしなくなり、戻って確認する。ひどい時はそれを何度も繰り返すという。それで、自分が認知症になったことが分かったという。(自分で認知症になったことが分かるというのは、すごいことだと思う。それに対して、周りに支援してほしいことが分かり、伝えてくれればその人の思いを尊重した支援が少しでも可能になると思った。本間)

みんなで海洋汚染を考えよう!!!

「太平洋ゴミベルト」と呼ばれる海域があり、そこに集まるプラスチックのごみの量が7万9千トンに達するとオランダなどの研究グループがまとめた。ゴミベルトの面積は160万平方キロで日本の面積の4倍を超える。プラスチックごみの表示などから製造場所が分かった386個のうち、日本のものが115個(約30%)と最も多かったことが明らかになった。

海洋汚染が進んでいる可能性が高いと研究グループは対策強化を訴えた。プラスチックは回収されリサイクルされているが、1人ひとりが考えて、行動していくことが求められている。本間



会員
募集

賛助会員としてUビジョン研究所の活動を支援してください

賛助会員年会費 個人・一口 10,000円 法人・一口 100,000円

個人賛助会員：37名

法人会員：14法人

- *株式会社S N食品研究所(大阪府) *社会福祉法人生活クラブ(千葉県) *社会福祉法人崇山会(群馬県)
- *社会福祉法人大石福祉会(滋賀県) *社会福祉法人ほうえい会(東京都)
- *社会福祉法人愛生福祉会(高知県) *社会福祉法人天雲会(熊本県) *社会福祉法人晋栄福祉会(大阪府)
- *社会福祉法人プレマ会(神奈川県) *社会福祉法人霞会(茨城県) *社会福祉法人高崎倶楽部(群馬県)
- *深圳市康盈養老投資有限公司(中国) *社会福祉法人春日部福祉会(埼玉県)
- *社会福祉法人隆生福祉会(大阪府)



2018年トップマネジメントセミナー開催のお知らせ

- 日時** 11月8日(木) 13:20～16:50
11月9日(金) 9:30～11:45
- 場所** 国立オリンピック記念青少年総合センター
- 参加費** 参加費 10,000円(資料代、消費税など含む)
(法人賛助会員は、参加費が割引になります。)
*交通費・宿泊費は参加者負担となります。

11月 8日(木)

時間	内容	講師
13:20～	オリエンテーション・理事長挨拶	Uビジョン研究所 理事長 本間 郁子
13:30～	福祉人材の確保とサービスの質(仮) 質疑応答	厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室 室長補佐 片桐 昌二(予定)
14:45～	休憩	
15:00～	在宅療養における看取りの現状 「たんの吸引しないケアとは」・質疑応答	一般社団法人南区医師会 南区医師会訪問看護ステーション 管理者 高砂 裕子

11月 9日(金)

9:30～	人材確保戦略と人材育成・グループワーク	Uビジョン研究所 理事長 本間 郁子
-------	---------------------	--------------------

詳細は、事務局にお問い合わせください。
申込締切 2018年10月10日(水)

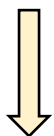
あなたの家に眠る「お宝」で支援してください。

2018年10月1日より、Uビジョン研究所は「お宝エイド」を通じての寄附の受付を開始します。家で不要となり眠っている「お宝」は、古物商「お買取屋さん」にて丁寧に査定され、その査定金額の10%上乗せした金額がUビジョン研究所の活動資金として寄附されます。

ステップ1 家で眠っているお宝を梱包します。



ステップ2 ゆうパック(日本郵政)の着払いでの集荷を依頼します。



活動資金としてUビジョン研究所に振り込まれます。

品名にUビジョン研究所宛「お宝エイド」と記入



詳しくは、同封のチラシ、Uビジョン研究所ホームページをご覧ください。

御礼

西日本豪雨で被災した施設に「株式会社 SN 食品研究所」様が たくさんの支援物資を届けてくださいました。

7月11日～13日の3日間、愛媛県宇和島市の特養ホーム「祝の郷」の運営指導のために松山空港に降り立ったもののJRが止まっているため、施設長が迎えに来てくれた。和島に行く途中に、もう1つの施設大洲市の地域密着型施設「札掛の里」に寄って施設長に話を聞くと、職員の3分の2は出勤できず、職員2人の家は床上浸水したという。自治体などの支援を待っているのは時間がかかるため、職員が集まって片付けの支援をした。祝の郷は、職員3人の自宅の水が出ず、生活に困難をきたしていた。2施設は直接の被害はなかった。

支援物資の食べ物にも限界があるとのことで、2日目にUビジョン研究所の評議員である中村信子さん

(株式会社 SN 食品研究所の前社長・現相談役)と話していたら、翌日13日に岡山支社から非常食の支援物資を車で直接届けて下さいました。心のこもった迅速な対応に深く感謝申し上げます。施設職員は、水もいらないアレルギー対応の非常食に非常に感激していました。

職員からお礼のメール、お手紙も届きました。

株式会社 SN 食品研究所様に心より深く御礼申し上げます。



認証施設 だより

生活クラブ風の村特養ホーム八街

9月10日深夜から11日の朝まで「抜き打ち調査」を実施しました。拘束ゼロ。本当に素晴らしいです。

特養ホーム龍生園 第3回認証審査

7月2日から4日までの3日間、24時間の調査を実施。社会状況も変化している中でサービスの質が維持できているかを審査します。拘束ゼロ、臭い無し。コールは適切な位置に置かれているなど、職員が人権を守るという高い意識と安全確保に対する工夫と努力があり、全体的に生活の質は高く品格が感じられました。

9月25日には、第3回認証授与式が行われました。授与式には龍生園入居者のご家族、人吉市役所高齢者支援課課長、社協の職員、天雲会役員、龍生園の職員を含め30名くらいの参加者がありました。



認証への立役者、現場へフォーカス



特別養護老人ホーム龍生園 調理員 跡部ひとみさん

Uビジョン (以下U): いつから龍生園で働かれているのですか。

跡部さん (以下跡): 平成5年から働いているので、丸25年になります。

U: 調理員として龍生園で長く働かれているのですね。龍生園の食事の特徴はズバリなんですか。

跡: 減塩を重視するのではなく、味を重視し、色合いも考え、手作りにもこだわり入居者の方が楽しんで美味しいと思っていただけるような食事が特徴です。この食事が最期の食事になってしまうかもしれないと常に意識をして心を込めて作っております。

U: 本当にその気持ちが伝わってくる食事です。日本一といっても過言ではない食事を提供されていますよね。入居者の方から評判がよい名物料理のようなものはありますか。

跡:「鮎の甘露煮」が名物料理かと思います。近くの球磨川で鮎が採れたりします。

U:鮎が採れるのですね。とても自然が豊かできれいな川が流れているのですね。入居者の方がお食事をとられているところにも良く訪問されるのですか。

跡:ユニット内でも調理をしている所もありますので、食事の用意をしながら入居者の方とコミュニケーションを良く取っております。

U:入居者の方とも密接に関わり、色々なアイデアや素敵な美味しいお料理が生まれてくるのですね。さて、この度跡部さんにとっては3度目の認証「悠」取得になるかと思いますが、認証取得して良かったことはありますか。

跡:普段からみんなで頑張っているのですが、それでも足りないところなど勉強になる部分があり認証に向けての勉強会や改善などを行い、より一丸となって頑張れるところです。時代の流れもあり、その都度色々な事を検討したり試したりしております。

U:認証「悠」の役割について跡部さんの思いや考えはありますか。

跡:そうですね。日本のお年寄りが幸せに暮らせるような施設がどんどん増えていけばよいと思います。認証「悠」施設が増えればそれが実現できると思います。



特別養護老人ホーム龍生園 介護職員 持留舞さん

Uビジョン (以下U):いつから龍生園で働かれていますか。

持留さん (以下持):2016年の5月から龍生園で働いています。それまでは、鹿児島県にてブライダル業界で働いておりました。全く違う業種からの転職でした。

U:全く違う業界にお勤めだったとのことですが、なぜ介護職員になろうと思われましたか。

持:祖母の介護がきっかけで介護職という尊い仕事に出会い、魅了されました。その後縁あって引っ越す人吉市では「介護職員」として働きたいという強い思いが芽生えました。人吉市にある施設をいくつか訪問しましたが、龍生園は入居者・職員ともに笑顔で溢れておりました。この明るい雰囲気は強く惹かれ、現在龍生園で働いております。

U:最近お仕事で嬉しかったこと、やりがいを感じていることは何ですか。

持:うーん。(沢山有り過ぎて悩まれている様子) 本当に日々感じています。日々の入居者の方の笑顔、入居者のご家族の方が喜んでくださる時など本当に嬉しいです。

U:入居者の方だけでなく、ご家族の方ともコミュニケーションも密に取られているのですね。

持:はい。多くのご家族の方に訪問していただいています。居室にベッドを用意してご家族も泊まることのできるんです。

U:そうなんですね。(施設に訪問したというより) 家族の家に来たという感覚ですね。

さて、持留さんが仕事上で大切にしている想いは何ですか。

持:介護は生活の延長で、特別な事をするのではないですが、一人ひとりの入居者の方の気持ちを大切に、ご自分の好きなように生活ができるサポートをするということです。その方の生きざまであったり、命の大切さであったり、入居者の方から教えられることは多く、貴重な時間を過ごさせていただいているなと思うと同時に尊い仕事なんだと感じております。

U:今回Uビジョンの認証「悠」の3回目の取得ですが、Uビジョンの認証を取得して良かった点はありますか。

持:人に自分の職場について話す時に、私たちの施設(龍生園)はレストランでいうとミシュランの星が付いているような凄い施設で働いているんだと胸を張って自慢できる所です。職員はみんな認証取得を意識して、良い意味で緊張感を持ち、気を引き締めて介護をしております。

U:これから龍生園をどんな施設にしていきたいですか。

持:老人ホームに入ったら色々な事を我慢して自分らしくいられないというイメージを持ち施設に入りたくないという方も沢山いらっしゃると思います。ただ、龍生園は違うんです! 龍生園は一人ひとりの思いや生き方、生活スタイルを大切に本当に素晴らしい施設で、日本一の施設だと誇りに思っております。これからは、龍生園のような施設が自分の地元や日本全国に増えていくことを心から願っています。

現在「7つの基金」があります

*基金は100万円以上ご寄附された際に設立します。

基金名	目的
1、ジャック・ユンクイアン基金	評価者育成・支援のため
2、中村尚史基金	認証施設のアワード
3、中村信子基金	高齢者・障がい者生活施設で暮らす人たちが、個人として尊重され、安心して安全に生活できるようにするため
4、管理費充当基金	赤字になって運営に支障をきたす状況があった場合、災害、盗難などの被害、機器などが破損などして使用できなくなった場合も含む
5、公益事業基金	事業拡大：自治体や社会福祉法人、民間企業などへ認証及び講師派遣などの提案や説明のための旅費を含む
6、本間政雄基金	今後も安定的に運営されるために、法人会計が赤字の場合に使用
7、本間勇治記念Uビジョン応援基金	今後も安定的に運営されるために、法人会計が赤字の場合に使用

ご寄附状況 2017年10月～2018年9月までの寄附金総額 2,342,000円

2018年6月28日～2018年9月26日現在 寄附金7件
岩田喜美枝様、新垣美智子様、宮城サカエ様、本間郁子様、匿名3件
有料老人ホームに入居中の96歳の支援者の方が毎月寄附金を、
送ってくださっています。深く感謝申し上げます。
皆様の温かいご支援、今後の活動に役立てていきたいと思っております。ありがとうございます。



Uビジョン研究所役員名簿

理事	本間 郁子（理事長）、脊山 静子（副理事長）、是枝 祥子、菊池 馨実
評議員	石飛 幸三、中村 信子、土屋 敬三、三原 岳
監査	高野 範城

♪事務局便り♪

今年のトップマネジメントセミナーは、Uビジョン研究所（東京）での開催になります。
しばらく認証施設にご協力いただいて各施設で開催していたため、5年ぶりの東京での開催となります。
多くの参加者をお迎えする準備から、当日のご案内、お食事等、認証施設には大変なお願いをしていたの
だと本当に感謝しております。

今年のトップマネジメントセミナーも、みな様に喜んでいただける内容になりますので、ご参加お待ちしております。（原）

♡編集後記♡

電車で隣の席で本を開いてブツブツ言っていた。居眠りをしている振りしているときどき日本語が聞こえる。目を開けると笑顔が返ってきた、本を指して「これどういう意味ですか、教えてください」日本語で“重ねる”と書かれてあり、“積み重ねる”とどう違うのか、「ベトナムから来て日本で仕事をしたい、言葉が難しくても覚えないと仕事につけない、頑張って頑張って覚えます」と。適切に答えられないまま下車駅になってしまった。（是枝）

★Vol.24 発行部数★ 350部



公益財団法人 Uビジョン研究所
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-3-18 ビラ・モデルナ A-405
TEL03(6904)4611 FAX03(3407)6055
u-vision@diary.ocn.ne.jp
事務局受付時間：月～金 10:00～17:00